

総務経済委員会

付託議案 議案 第68号・第69号・第73号・第76号
第77号・第78号・第79号・第80号・第81号・第82号・第84号

総務経済委員会委員長：福原 謙二

問 漁業用燃油価格高騰対策事業の概要について伺う。

答 原油価格の高騰により影響を受けている漁業者に対し、漁船を操業するために要する原油価格の高騰相当額の3分の2を補助するものである。

問 運送事業者緊急支援事業補助金の概要は。また、この事業における補助金交付までのスケジュールと審査方法について伺う。

答 市内に本社および事務所を置き、道路貨物運送事業を営む中小法人または個人事業主を対象に、有償で運送する普通貨物自動車一台につき5万円、軽貨物自動車一台につき2万5,000円を補助するものである。補助対象となる車両台数は全体で約1,000台と見込んでいる。

8月上旬から原則郵送による受付を開始し、商工課の職員が審査を行う。申請から補助金交付まで長くても4週間程度を想定している。事業実体が確認できる書類の添付により、適正な審査を行う。

問 事業所LED照明設置等促進事業補助金の概要と、様々な省エネルギー推進施策がある中、LEDのみに特化した理由は何か。

答 この補助金は事業所や工場などの照明設備をLEDに交換する事業者に対し、交換費用が10万円以上の場合に、費用の2分の1について100万円を限度として助成するものである。

照明のLED化は、CO₂の排出削減だけでなく、コスト面でも効率的な施策として公共施設でも推進しており、民間施設においてもまずはLED化を推進していく。

《議案以外の委員会所管事務に関するもの》

- ・電力供給の入札および調達方法
- ・県が進める新しい観光施策の内容
- ・瀬戸田への空き家バンクの拡充

《審査結果》

付託を受けた11議案は、すべて全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定。

委員会審査の様子はこちら



福祉環境委員会

付託議案 議案 第68号・第70号・第71号・第72号
第74号・第75号・第83号・第85号

福祉環境委員会委員長：岡野 斉也

問 尾道市子ども医療費助成条例の一部改正について伺う。この制度の概要は。

答 本市の医療費助成は、市独自で平成29年10月から対象者を中学3年生まで年齢を拡大し、さらに所得制限を撤廃して、通院・入院とも1医療機関につき1日500円で受診できる制度となっているが、今年の10月受診分からは対象年齢を18歳に引き上げるものである。新たな対象者は約3,000人であり、申請が必要である。

問 子宮頸がんワクチン予防接種費の概要は。

答 定期接種の対象年齢を過ぎてから子宮頸がん予防ワクチンを任意で接種した人のうち、所定の要件を満たす人に対して接種費用の助成を行うものである。

問 原油・物価高の影響を受けている生活者、事業者の負担軽減のため、2か月分の水道基本料金を免除する事業の負担金を計上しているが、全ての市民と事業者にも恩恵のある支援策と言えるのか。未給水世帯への支援なども検討すべきではないか。

答 少ない事業費で多くの市民に恩恵が行きわたる施策であると考えている。未給水となっている世帯に対しては、何らかの支援ができないか検討していきたい。

問 生活困窮者応援給付金の概要は。また、その対象者の把握はどのようにするのか。

答 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が主な財源で、雇用情勢の悪化や物価高騰の影響による生活困窮者の支援を目的としている。

対象者は、過去の支援制度利用者の情報により担当課で把握できており、対象世帯は119件を見込んでいる。

《議案以外の委員会所管事務に関するもの》

- ・セアカゴケグモの公共施設での調査と子どもや保護者への注意喚起
- ・子どもに対する虐待の現状と対策

《審査結果》

付託を受けた8議案は、議案第85号議案は態度保留者を除き全会一致で、他7議案は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定。

委員会審査の様子はこちら



教育スポーツ委員会

付託議案

議案 第68号

教育スポーツ委員会委員長：山根 信行

問 小学校と中学校の非構造部材等耐震補強工事の内容を伺う。

答 瀬戸田小学校と因島南中学校の体育館の耐震対策として、天井材や照明器具、バスケットボールのゴール等の非構造部材の落下防止対策の工事である。教育委員会では全小中学校の非構造部材耐震改修工事を順次進めており、今年度を最終年度としている。また、両工事ともにこれを機に照明をLED化する工事費も含まれている。

問 保健体育総務費の学校給食会への補助金3,600万円の目的は。

答 今後の給食食材の高騰を見込み、国の交付金を活用してこれを補填しようとするものである。これにより今年度中は給食費を抑制できるものと考えている。

問 学校給食において地産地消という観点から、現状どのように食材を調達しているか。

答 可能な限り地元産品を使いたいと考えているが、昨今の物価上昇等により、非常に厳しい状況である。品目ベースで15%程度地元の食材を使用することを目標としているが、現在のところ10%前後という状況である。

問 仮設校舎借上料の内容について伺う。

答 久保、長江、土堂小学校の仮校舎に係る不動産取得税相当額についてリース業者に支払うものであり、建物が完成した翌年に課税されることから、今年の8月頃に請求されるものと考えている。

《議案以外の委員会所管事務に関するもの》

- ・教育のICT化とデータの共有化
- ・少人数学級が及ぼす効果
- ・全国における少人数学級の実施状況と市費投入により少人数学級化を加速させる検討

委員会審査の様子はこちら



《審査結果》

付託を受けた1議案は、全会一致で可決すべきものと決定。

議会改革特別委員会で常任委員会の録画配信を決定

議会改革特別委員会（委員長：山戸重治）では、常任委員会の録画配信について協議を重ね、今年6月定例会から実施することとしました。

尾道市議会では、現在、総務経済、福祉環境、教育スポーツの3つの常任委員会を設置して、すべての議員がいずれかの委員会に所属し、市政全般に渡る事業を各常任委員会で分担して審査しています。

6月、9月、12月の定例会で開催される常任委員会において、市長から提案された議案を中心に審査している様子をビデオカメラで撮影、編集し、後日YouTube（動画投稿サイト）で配信することで、傍聴に来られない方でも視聴できるようにしました。

YouTubeのアカウント名は「尾道市議会公式チャンネル」です。

動画タイトルには開催日と常任委員会名を、概要欄には各常任委員会に付託された議案等を掲載し、動画の最初に常任委員会の所属委員名も掲載しています。この動画を多くの皆さんにご覧いただきたいと思えます。

6月の常任委員会の審査の様子を7月22日よりYouTubeにて配信しています。

今後の録画配信は、定例会終了後（動画編集作業等により概ね1カ月後）に公開していく予定です。



▲ 常任委員会の録画配信について協議する議会改革特別委員会（6月13日開催）